

留意事項

※車両には、試験の都合上、バッテリー上がりを防ぐため、充電器を接続しています。

問題1

試験は着席した状態で行うこと。

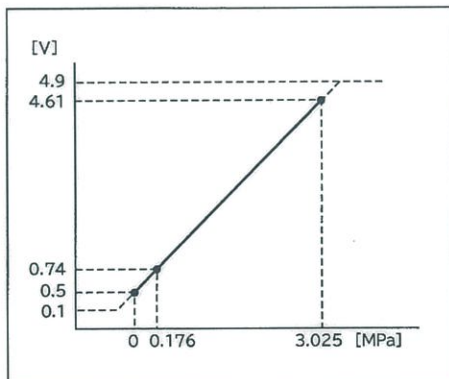
問1

・ALLダイアグを選択する必要はありません。

《ダイアグコード（DTC）検出条件の抜粋》

ダイアグコード	診断項目	検出条件
B1412	外気センサ故障	・外気センサ回路のオープン(断線)、またはショート(短絡)。
B1423	冷媒圧力異常	・冷媒ガスの圧力が異常に低い場合(0.176 MPa 以下)、もしくは異常に高い場合(3.025 MPa 以上)に出力される。
B14B8	冷媒不足	・冷媒ガス量が一定値以下の場合に出力される。

問3, 問4



冷媒圧力センサ 電圧特性

- ① 測定は、チェック・ボックスに設けた測定端子で行うこと。
- ② チェック・ボックスの番号と、回路図内の番号は、同じです。
- ③ 測定は、電圧レンジのみを用いること。

留意事項

問題2

- ① 試験は着席した状態で行うこと。
- ② ホーン・スイッチの操作は試験委員が行うので、必要に応じて指示すること。

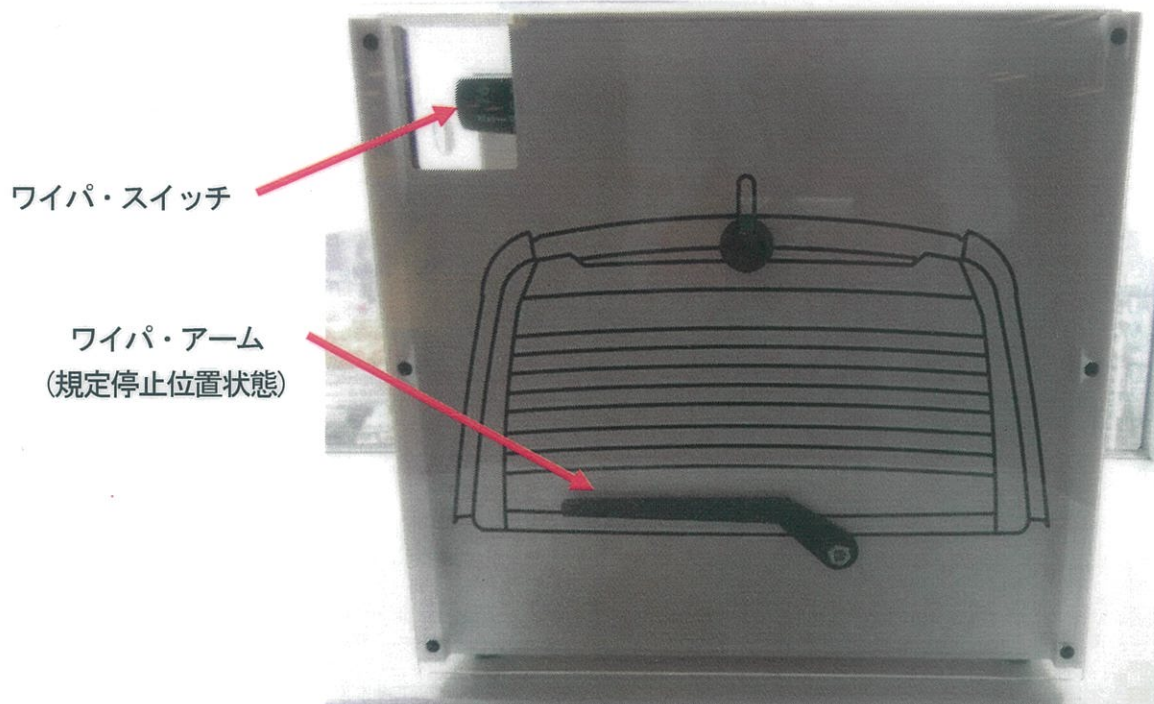
問2

- ① 測定は、チェック・ボックスに設けた測定端子で行うこと。
- ② チェック・ボックスの番号と、回路図内の番号は、同じです。
- ③ 測定は、**電圧レンジ**のみを用いること。

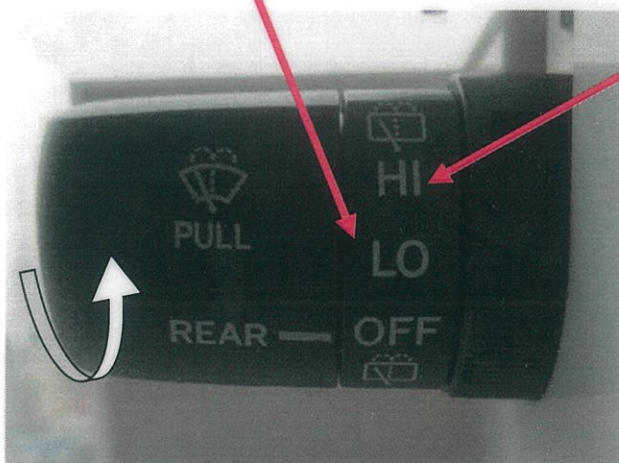
留意事項

問題3

- ① 試験は着席した状態で行うこと。
- ② リヤ・ワイパ・シミュレータ (実物写真) は下図のとおりである。



- ③ 正常時は、LOは間欠作動 (約 12 秒間隔) し、HIは連続作動する。



※ウォッシャは作動させないこと。

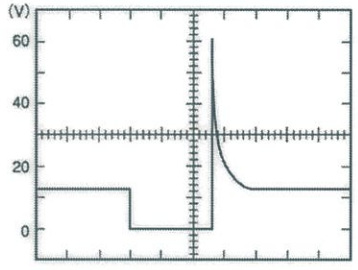
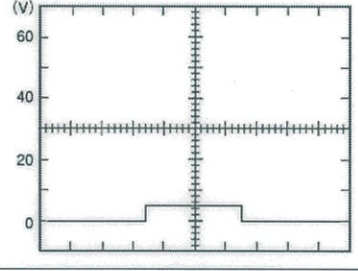
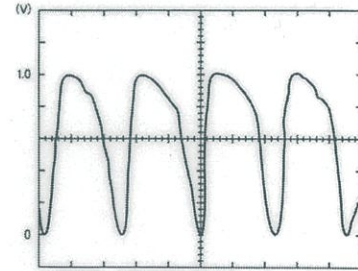
問2

- ① 測定は、チェック・ボックスに設けた測定端子で行うこと。
- ② チェック・ボックスの番号と、回路図内の番号は、同じです。
- ③ 測定は、**電圧レンジ**のみを用いること。

留意事項

問題4 試験は着席した状態で行うこと。

問1 《正常時のエンジンECU端子の基準電圧》

系 統	ECU測定端子番号	サーキット・テスタで測定した場合の基準電圧 (AUTO RANGE)	(参考) オシロスコープで測定した場合の電圧波形
フューエル・インジェクタ	31	10.5~12.5V	
	32		
	33		
	34		
エア・フロー・センサ	35	1.5~1.7V	—
	36	0V	
	37		
イグニション・コイル (点火制御)	38	0.1~0.5V	
	39		
	40		
	41		
水温センサ	42	0.6~0.8V(80℃)	—
O ₂ センサ	43	0.4~0.5V (約0~1.0V間で 右図のように変化)	
	44		

- ① 測定は、チェック・ボックスに設けた測定端子で行うこと。
- ② チェック・ボックスの番号と、回路図内の番号は、同じです。
- ③ 測定は、**電圧レンジの AUTO RANGE** のみを用いること。

問4

- ① モニタの切り替えは試験委員が行うので、必要に応じて指示すること。
- ② オシロスコープ (パソコン) の操作はしないこと。
- ③ V/DIV は 10V, TIME/DIV は 10ms, プローブは×1 です。

・オシロスコープの設定状態

